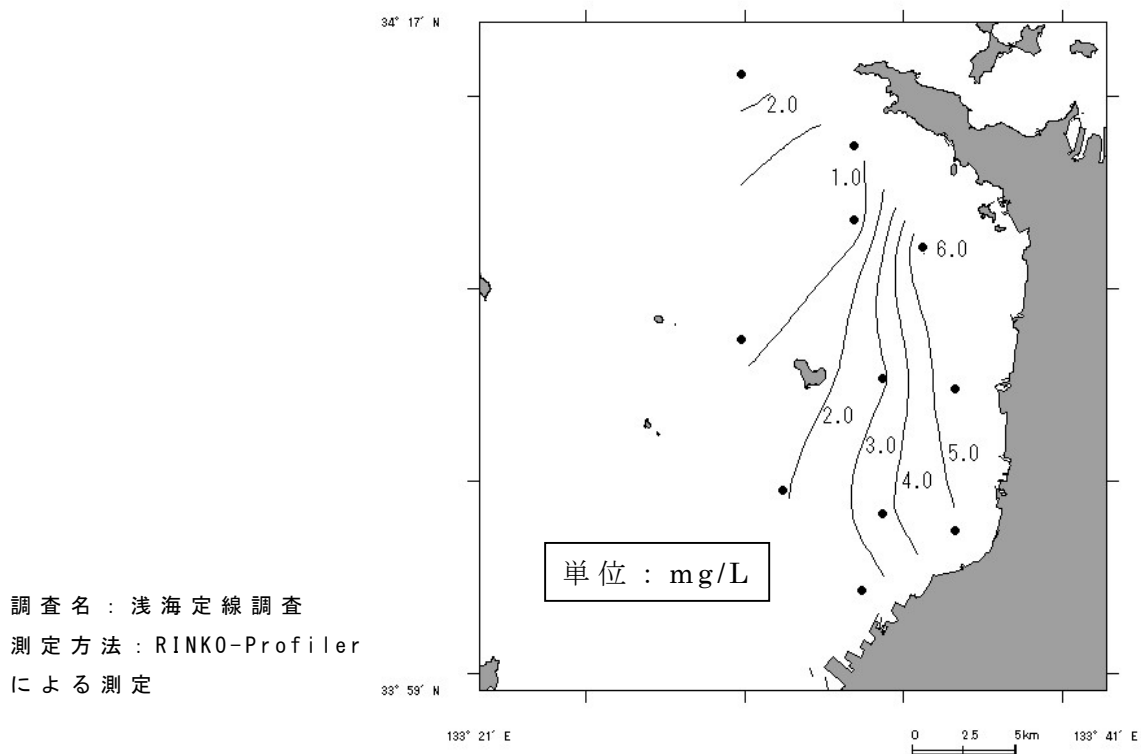


燧灘貧酸素情報（第 4 号）

香川県水産試験場

9月30日観測結果

9月30日現在、底層の溶存酸素濃度は沖合を中心に依然として著しく低い状態です。ただし深さによる密度差（海水の重さの差）は非常に小さくなっており、底層の水が酸素の多い表層の水と混ざり合っ、まもなく貧酸素は解消するものと思われま。



溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。